

## (6)鹿島川・高崎川

改修断面は、法勾配 1:2 の土羽構造を基本とし、高水敷を 10m 程度確保した断面とします。護岸は橋梁、堰等の構造物の付近など最小限にとどめるとともに、動植物の生息・生育に配慮し自然素材を用い自然な水際になるようにします。

鹿島川は、沿川が水田に囲まれ、周辺斜面緑地と相まって良好な景観と多くの生物が生息する空間を有しています。このため、印旛沼と同様に水際にヨシ原の造成を行い、動植物の生息・生育に配慮した改修とします。また、良好な景観を活かした親水整備を図り、地域住民が川とふれあう場として、機能の充実を図ります。

高崎川は、佐倉市街地部を貫流していることから、堤防天端の整備や高水敷に散策路などを配し、親水に十分配慮した整備を行うものとします。

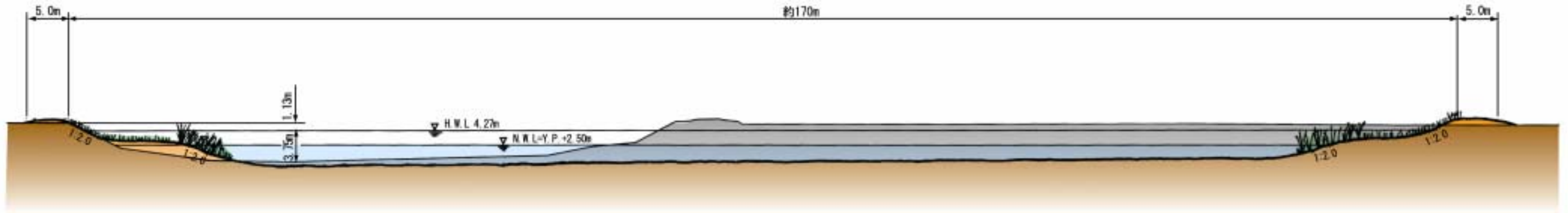
### 鹿島川

- ・ 施行区間 西印旛沼流入点～高崎川合流点
- ・ 延 長 L=2,700m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，河道拡幅

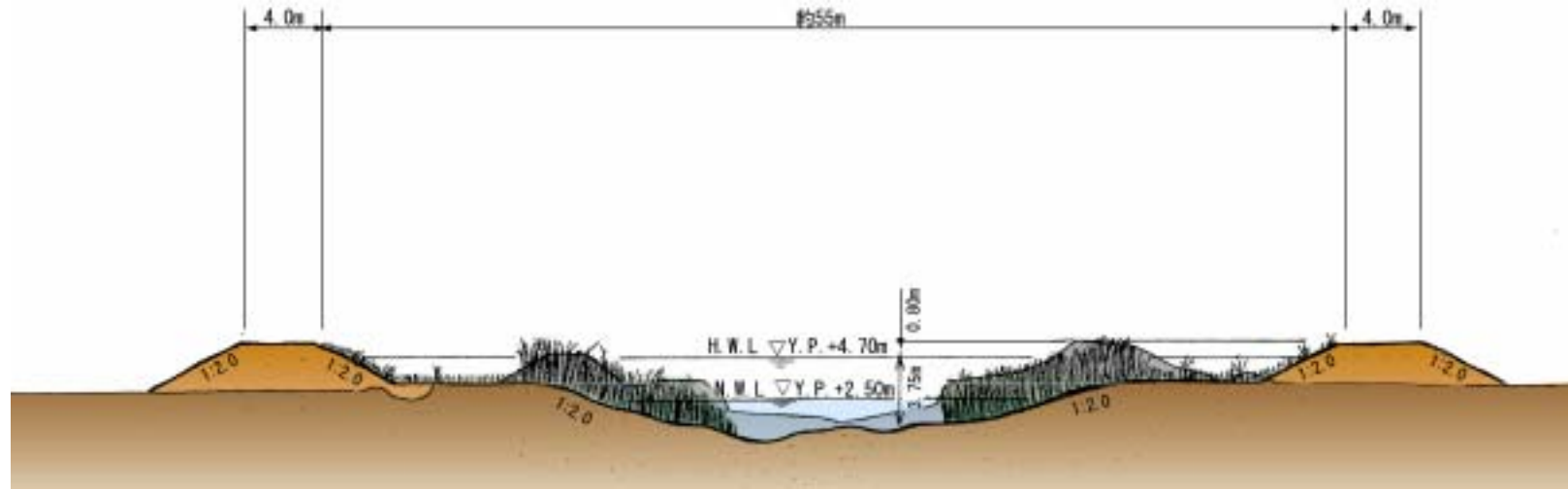
### 高崎川

- ・ 施行区間 鹿島川合流点～JR成田線下流端
- ・ 延 長 L=2,650m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，河道拡幅

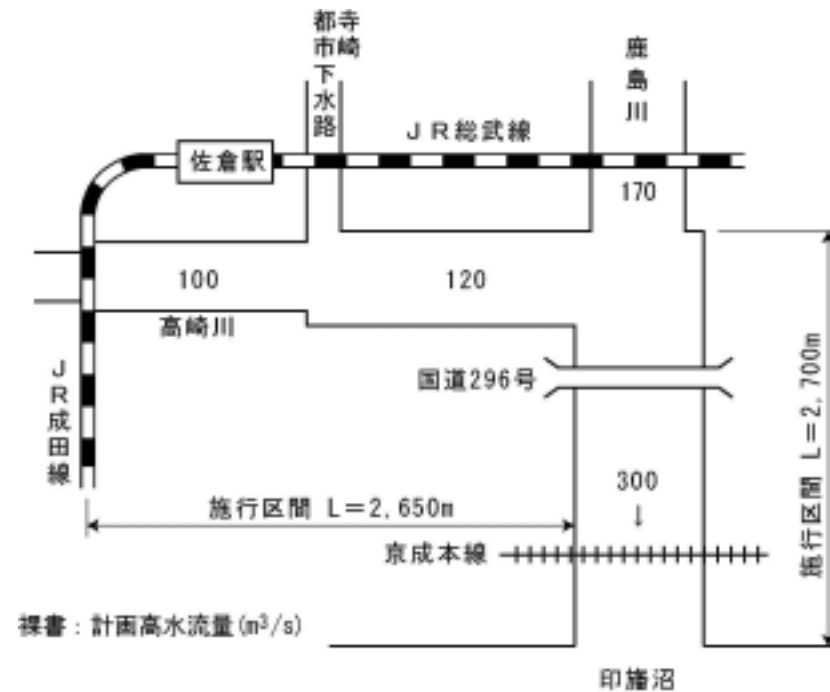
印旛沼合流点～高崎川合流点(鹿島川)



鹿島川合流点～寺崎都市下水路合流点(高崎川)

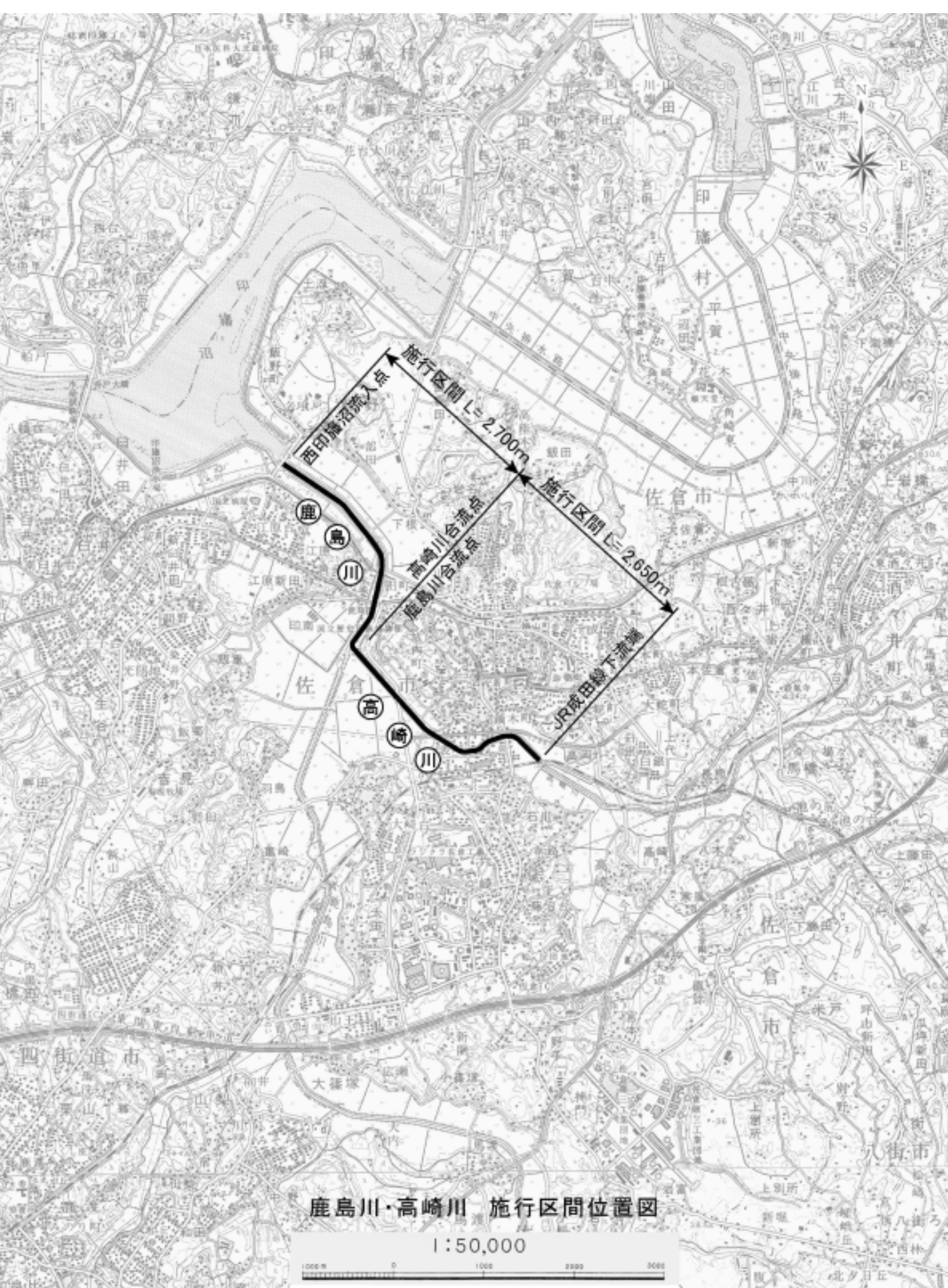


代表横断面図



備考：計画高水流量(m<sup>3</sup>/s)

流量配分図



(7)角田川

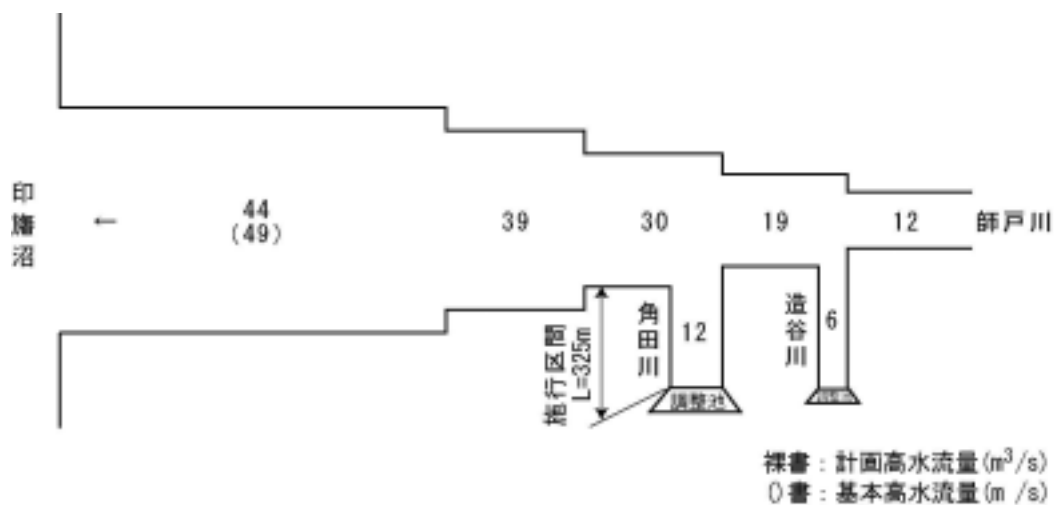
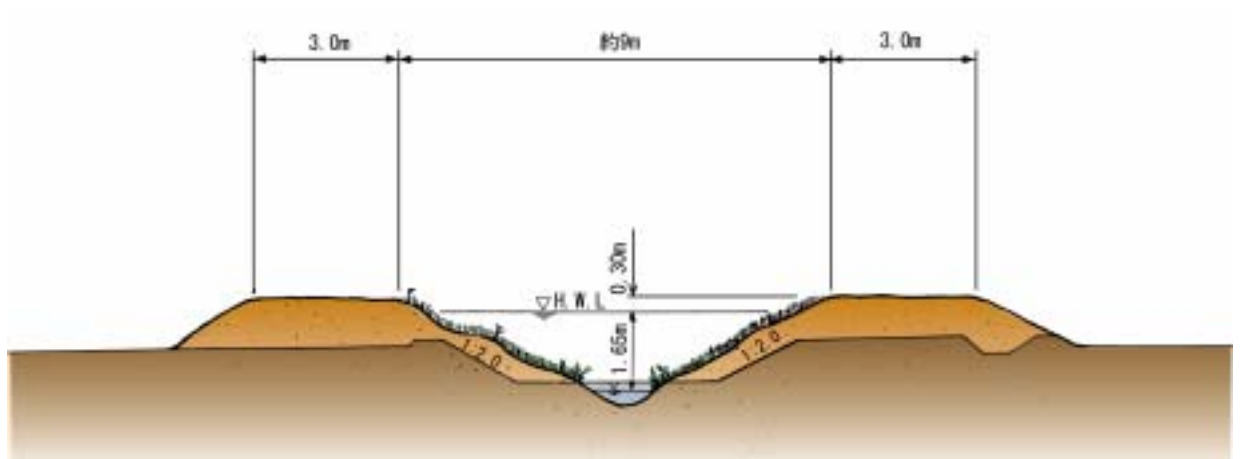
改修断面は、1：2勾配の土羽を基本とし、護岸は橋梁、堰等の構造物の付近など最小限にとどめるとともに、動植物の生息に配慮し自然素材を用い自然な水際になるようにします。

施行区間は川幅が小さいため単断面とし、流下能力上の阻害となるヨシ原等の造成は行わず、法面緑化のみにとどめます。

角田川

- ・ 施行区間 師戸川合流点～防災調節池
- ・ 延 長 L=325m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，河道拡幅，調節池

師戸川合流点～防災調節池（角田川）





角田川 施行区間位置図

1 : 50,000